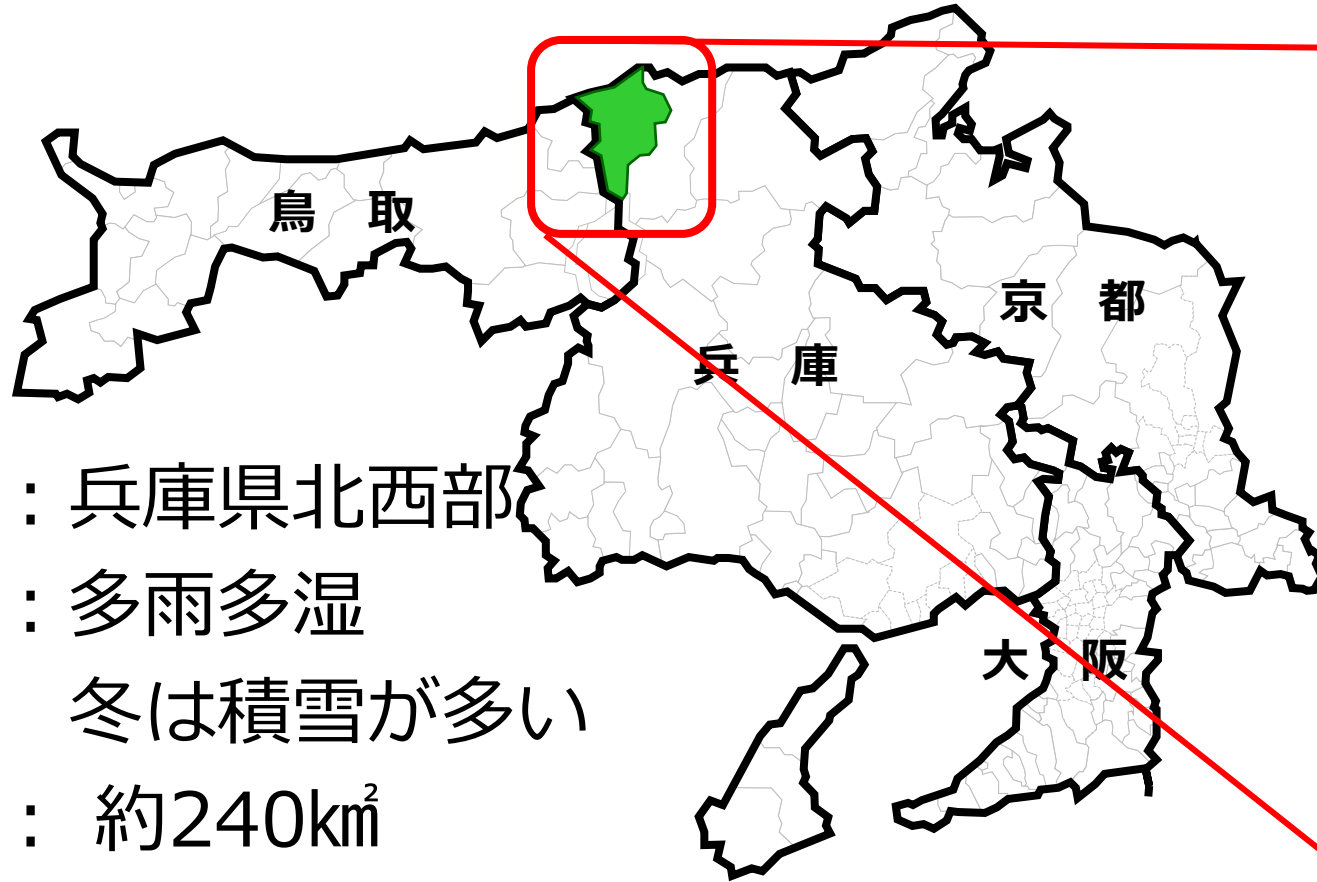




# 昔と今と未来をつなぐ 兵庫県新温泉町

兵庫県新温泉町商工観光課

# 新温泉町の概要



位置：兵庫県北西部

気候：多雨多湿

冬は積雪が多い

面積：約240km<sup>2</sup>

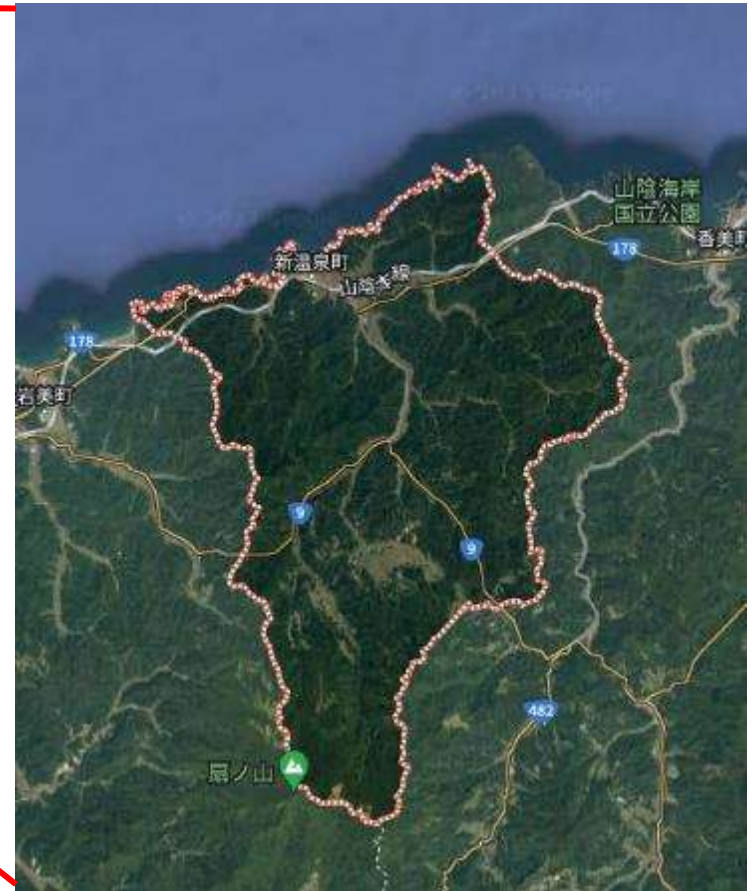
(約50%山林)



**大阪 約3時間**



**東京 約2時間**



Google Earthより

# 新温泉町の概要

H17.10.1

浜坂町・温泉町が合併

➔ **新温泉町**が誕生

【R5.3末現在】

・人口：13,274人

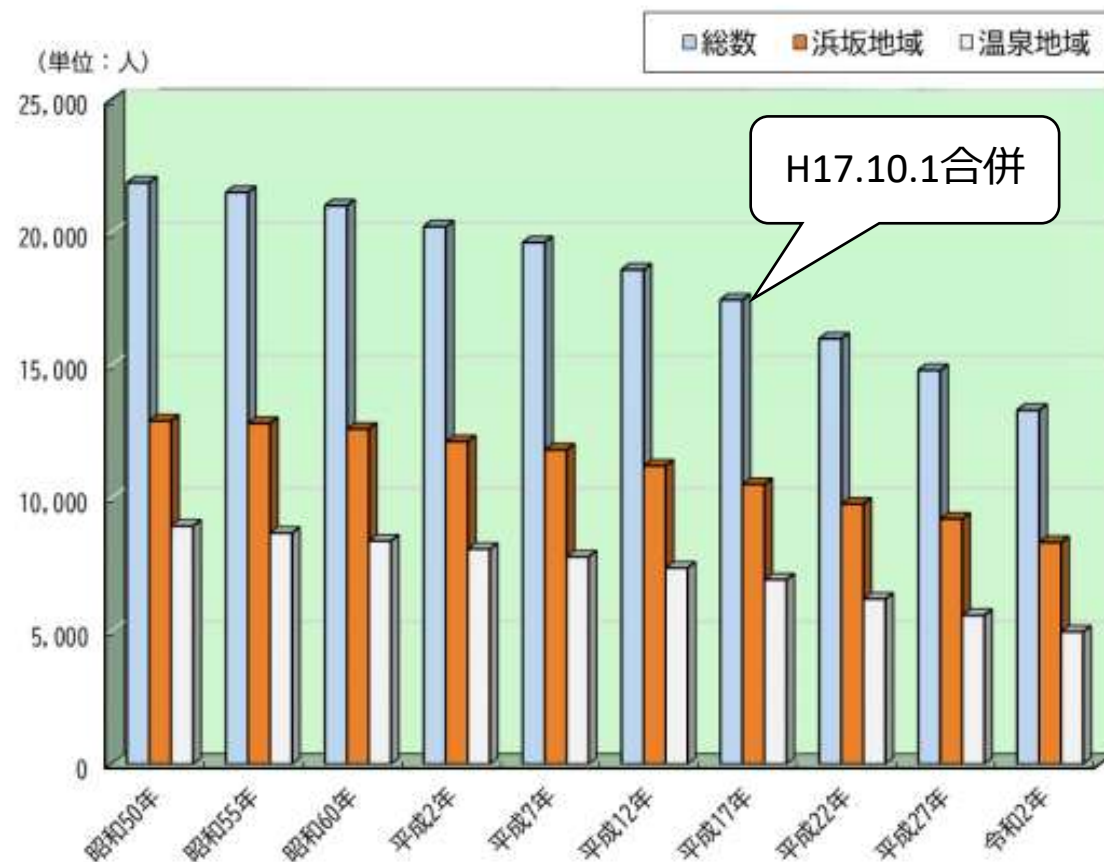
・高齢化率：41.72%

(R4全国29.1%※総務省統計局HPより)

・年間 約300人の人口減少

## 2 世帯・人口

(1) 世帯と人口の推移



2022新温泉町統計要覧 (R2国勢調査) より

# 新温泉町の魅力



# 新温泉町の魅力

全国に **2983** ある温泉地の中でも  
自然湧出の **10%** 温泉は約 **10%** さらに 千年の歴史をもつ温泉は約 **4%**

約1200年前に慈覚大師が開湯したと伝わる「湯村(ゆむら)温泉」をはじめ、  
全国有数の一般家庭への配湯戸数を誇る「浜坂(はまさか)温泉」や  
源泉100%かけ流しのお湯が自慢の「七釜(しちかま)温泉」。



毎日温泉に入れるなんて！まさにおんせん天国！！  
蛇口をひねれば我が家で『温泉』



# 課 題

## 《生産グループが伝える伝統的食文化》

地元食材を使用し、昔ながらの製法や先祖代々の家庭の味を出しながら加工品を作っている。



# 伝統的食文化の存続危機

①高齡化（70歳以上）

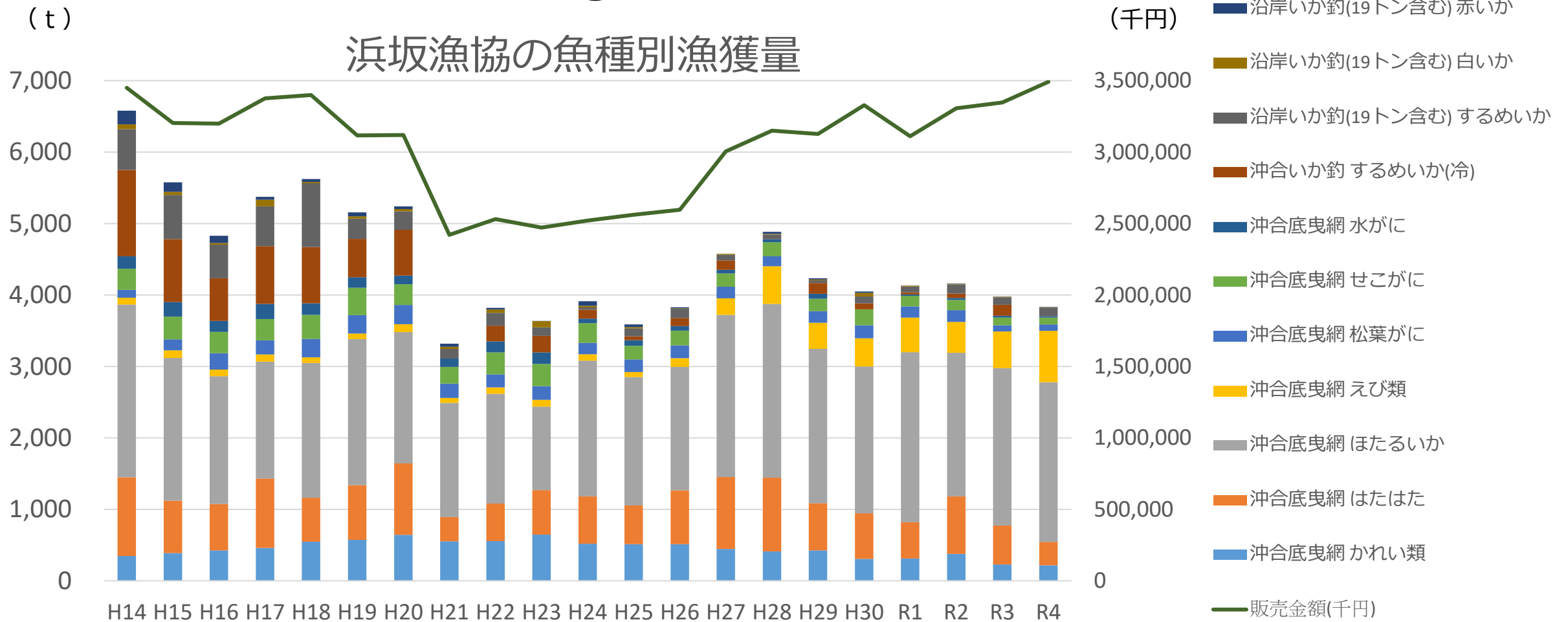
②人手不足



# 伝統的食文化の存続危機

## ③ 資源の減少

浜坂漁協の魚種別漁獲量





# これまでの取組み

## • 商品開発、商品改良

“今まで”にこだわらず、柔軟に対応。



フードコーディネーターやデザイン・ブランディングの先生を招聘

## • 販路開拓

地元消費 → ふるさと納税返礼品、道の駅ECサイト登録

商品プレゼン（甘えびフォンの普及）

町内旅館や飲食店への商品プレゼン→料理に使用してもらう  
イベントでのふるまい（試飲）



# 企業にお願いしたいこと

## ☆収益性向上

水産資源（わかめ、えび）を活用した**商品開発**

違う食材等（別地域の特産品、調味料）とコラボ

## ☆生産性向上

生産工程を見直し、機械を導入し、**生産量を増やす**

（乾燥させる、混ぜるなど）

→販路をもっと広げ、流通を図る

## 参加メリット

- ・ 伝統的食文化の保存に関わることで企業の**社会貢献**につながる。
- ・ 将来的に企業版ふるさと納税を活用して、生産加工場の一本化も進めることも検討。実施された場合には、効率的生産が可能となり、販売量を拡大できる。

# できること

## ○生産グループや関係団体、関係者とお繋ぎします！

- ・生産グループとの交流会
- ・現地視察の実施
- ・体験プログラム

## ○町の補助金制度

### 『新温泉町地域資源活用促進事業補助金』（地域資源を活用した商品開発等への補助制度）

- ・町内に事業所又は生産加工場がある団体等
- ・対象経費の1/2（上限50万円） ・講師謝金、交通費、原材料費、機械設備費等

### 『企業立地促進助成制度』

（物品の製造、加工、修理又はサービスの提供を業として行う施設の立地に際しての助成制度）

- ・新設：投下固定資産額3,000万円以上、町内在住の常用従業員5人以上
- 増設：投下固定資産額2,000万円以上、町内在住の常用従業員3人以上
- ・企業立地助成金（5年間）…投下固定資産に課税された固定資産税額相当を助成
- ・雇用促進奨励金（5年間）…常用従業員1人20万円（年/上限600万円）

# ワーケーションプラン

日程：10月～1月（2泊3日）×3クール（同じチームが3回訪問）

人数：5人 費用：1人45千円（1クール）

＊第1回目案＊（2回目以降は別途ご相談）

日 程	行 程
1 DAY	A M 新温泉町着（移動は職員がご案内） → 昼食 P M 生産グループ訪問（ヒアリング） → 宿泊先へ → 交流会
2 DAY	A M 生産グループ訪問（体験プログラム） → 昼食 P M コワーキングスペースでワーク作業 → 宿泊先へ
3 DAY	A M グループアイデアソン及びワーク作業 解散



ご清聴ありがとうございました